



国際会長	《2022-2023年度主題》 ウルリック・ラウリドセン (DNK) "Let Your Light Shine" ("輝かそう、あなたの光を")
アジア太平洋地域会長	チェン・チ・ミン(TWN) "Elegantly Change with New Era"
東日本区理事	佐藤 重良 (甲府21) 「未来に向けて今すぐ行動しよう」
湘南・沖縄部長	小松 仲史 (厚木) 「楽しく・元氣よく・前向きに」
クラブ会長	今城 高之

2022-2023 クラブ役員	
会長	今城 高之
直前会長	辻 剛
書記	岡田 美和
会計	横田 孝久

今月の聖句

「この憐れみによって、／高い所からあけぼのの光が我らを訪れ、暗闇と死の陰に座している者たちを照らし、／我らの歩みを平和の道に導く。」

ルカによる福音書1・78-79

12月本例会

日時 12月22日 (金) 17:30～

場所 夢Café (センター北駅前)

司会：坂口 直樹

受付・報告：辻 剛

～プログラム～

1. 開会点鐘
2. ワイズソング・ワイズの信条
3. 今月の聖句・お祈り
4. 会長挨拶
5. 連絡・報告事項
6. YMCA報告
7. Happy Birthday
8. クリスマス祝会



<巻頭メッセージ> 「瓦礫の上の幼子イエス」

相賀 昇 クラブ・チャプレン

アドベントの2本のろうそくに光を灯し、今年のクリスマスが近づいてきました。「初めての子を産み、布にくるんで飼ひ葉桶に寝かせた。宿屋には彼らの泊まる場所がなかったからである。」(ルカ2・7) この言葉がイエス様の誕生の全てを物語っています。岩波訳の聖書、佐藤研さんの翻訳によれば「旅籠(はたご)の中には、彼らのための居場所がなかったためである」とありました。イエス・キリストがお生まれになった時、そこにはイエス様の居場所はありませんでした。それはイエス様がどのような救い主であったのかということを表わしているように思います。コロナ禍の爪痕により居場所のない子どもたちや若者たち、ガザ地区やウクライナにおける戦闘によって難民となる人たち、そのような人たちのそばにイエス・キリストは立ち続けておられます。



キリスト誕生の地ベツレヘムはパレスチナ自治区に属しムスリムが多数派ですが、パレスチナ最大級のキリスト教コミュニティーがあって、一年中アドベントとクリスマスを楽しむ街として巡礼地となっています。昨日、現在の状況が伝えられていましたが、その福音ルーテル教会でも2本のろうそくに点火する親子の姿がありました。しかし、いつもは祭壇横にあるはずのクリスマスツリーはそこになく、代わりに積み重なったがれきの上に幼子イエスの人形がおかれています。例年のようにクリスマスツリーを飾るのではなく、ガザで犠牲が拡大していることに思いを寄せるために、がれきを模した聖誕像(クリッパ)の展示を始めたのだと言います。今年、あのベツレヘムの星は輝かないのでしょうか。

「主は豊かであったのに、あなたがたのために貧しくなられた。それは、主の貧しさによって、あなたがたが豊かになるためだったのです。」(Ⅱコリント8・9) 飼ひ葉桶の貧しさ、さらにそこに差していた十字架の暗い影は、まさに私たちが本当の意味で豊かに生きることができるためでした。かつて非戦論を唱えた内村鑑三はクリスマスの意味について次のように語っています。「クリスマス！この日をすべての人の誕生日となさなくてはなりません。私どもの敵も味方も、みな再びこの日に生まれ変わらなければなりません。世界万国の人がみなこの日をその誕生日と定むるに及んで初めて、本当の平和が地上に臨むのであります」

クリスマスは、私たちみんながイエス様の民として、神様の子どもとして、新しく生まれることができる日、だれにとっても誕生日だと言うのです。私たちだれもが真の平和の実現、そして共に生きる豊かな世界のために新しく生まれかわらなくてはなりません。真の平和と共生をもたらすクリスマス、その喜びと希望をもって私たちクラブもますます励むものでありたいと思います。(完)

“To acknowledge the duty that accompanies every right”

《11月度本例会報告》

日時：2023年11月24日（金）17:30~19:00

会場：かけはし都筑

司会：鈴木 茂 報告：岡田美和

出席者：相賀、今城H・T、岡田、鴨下、坂口、

鈴木S、辻T・Ts、横田

ゲスト：ロバート・エスキルドセンさん

～次第～

1. 開会点鐘・黙祷 会長
2. ワイズソング・ワイズの信条唱和 一同
3. 今月の聖句と祈祷 相賀チャプレン
4. 会長挨拶 会長
5. 審議・検討・報告事項

1) You & Iコンサートの振り返り

当日の主なシーンをスライドショーで上映し、全体の流れを振り返り、当日のアンケート結果資料による来場者の反響等につき意見交換した。

(P3～5 報告参照)

- 当日の準備について：YMCAスタッフを中心に必要数の人員がボランティア参加した。すべての準備作業が円滑に進行したのはスタッフの人員に恵まれた結果と思われる。
- 昼食とミニ交流会：時間差はあったが、ボランティア全員が一堂に会し、昼食を取りながら和やかに交流することができた。
- 会場受付：従来通り、開演1時間前に開場したため、余裕が生まれ混乱も生じなく適正であった。
- 会場整理・入場案内：従来通り、前方より座って頂くようスタッフが誘導したが、むしろ、来場者が自動的に前方より着席する傾向があった。
- 緊急時の避難誘導については、事前のオリエンテーションが有益であった。

- プログラム：今回の歌劇はポピュラーではなく難解との印象を持った来場者が多かった。誰でも知っている内容がよいのではないか。
- 来場者より、終演時間を事前に知らせてほしかったとの意見があった。
- 場内放送その他情報発信：事前の準備がよくうまくいった。
- 閉幕と後片づけ：手慣れていることもあり後片付けはスムーズに進行した。
- 今後の業務並びに次回に向けての準備：第12回に向けての準備を開始する。

2) 今後の行事予定等について

- ① 11/25（土）第27回湘南・沖縄部大会
14:00~16:00
部評議会 16:00~ @湘南とつかYMCA
 - ② 12/5（火）第100回Y-Ys協議会
19:00~20:30 @湘南とつかYMCA
 - ③ 12/16（土）YMCAクリスマス礼拝
13:30~15:30 @横浜指路教会
 - ④ 12/22（金）クラブ本例会・クリスマス祝会
17:30~ @夢Café
500円程度のプレゼントを持参
会費1500円でケータリングの準備をする。
- * 12月度事務例会はなし。
- ⑤ 年明けは、1月9日に事務例会、26日に本例会並びにクラブ総会を開催する。また、エスキルドセンさんの入会式も行う予定。

6. 黙祷・閉会点鐘

(文責：岡田美和)

《TKB報告》

TKBでは毎月第3水曜日の13:30からセンター北の「夢カフェ」で作業をしています。主な作業は山元町の高齢者施設「みやま荘」と「つばめの杜保育所」にお送りするお誕生カードの作成ですが、この数カ月はウクライナの避難民の方々にお届けする手編みのマフラーと帽子に「To Ukrainian from Japanese Grandma」と書いたタグ付けと袋詰めを行いました。編んで下さったのはTKBメンバーの大野さんの友人の方たちで、素晴らしい出来映えに感心しつつ、一人でも多くの避難民の方々に使って頂けるようお願いしながら作業しました。「みどりクラブ」や横浜市の支援拠点「ドウルーズイ」にお届けすることが出来、この度YMCA同盟の支援拠点にもお届けする運びとなりました。これから迎える厳しい寒さの中、少しでも避難民の方々のお役に立てばうれしいと思います。(HI)



“To acknowledge the duty that accompanies every right”

《特別報告》

第11回 You & I コンサート

昨年11月12日に開催された記念すべき第10回コンサート（第1回は、2011年7月）終了後、直ちに運営委員会の賛同を得て2023年に第11回コンサートを行うこととし、早速準備に取り掛かりました。

1. 第10回の事後処理

当コンサートは、横浜市教育委員会、都筑区、都筑区社会福祉協議会の3機関より後援を得ており、終了後直ちに各機関への事業完了報告の提出を行いました。各報告には、完了した事業の内容と事業の収支報告書他が含まれます。

2. 第11回の準備

1) コンサート開催準備は、先ず、会場となる公会堂の予約から始まります。様々な催しが行われる公会堂の予約は極めて厳しく、通常の申し込みでは激しい抽選を経なければなりません。一方、当コンサートは、都筑区役所高齢障がい支援課を窓口にて区の後援を頂いており、併せ、公会堂の優先使用権が付与されます。所定の方法で区担当課に後援の申請をし、優先権を得ましたが、それでも希望した10月中の予約は叶わず、11月18日の予約が確定しました。

2) 直ちに、第1回より出演をお願いしてきた「横浜室内合奏団」に開催日を伝え、ご準備して頂きました。また、残る2機関（教育委員会、社協）に対して申請した結果、双方より後援通知を受領しました。

3) 本番6カ月前あたりの時点から、経済的な支援をお願いする都筑区社協（ふれあい助成金）、横浜YMCA（チャリティーラン支援金）との折衝が始まります。それぞれ申請を行い、承認されて所定の支援金を得ることができました。

4) 本番まで3カ月余りとなった7月半ばより、案内チラシの作成が始まります。演奏者から曲目リストを頂き、様々なデザインの原案を作成してつづきクラブのメンバーに諮り最終案が決定しました。印刷発注（プリントバック）を行いました。

5) 運営委員会の開催：2023年8月25日にコンサート運営委員会のキックオフミーティングを開催し、準備経過報告を行い、完成したチラシをお渡しして開催に向けた周知活動への協力を要請しました。なお、運営委員会参加団体は、これまでの5団体に加え、新たに『NPO法人えだ福祉ホーム』が加わり、次の6団体になりました。

NPO法人アーモンドコミュニティネットワーク

NPO法人みんなの家

NPO法人アスタPC

NPO法人えだ福祉ホーム

横浜つづきワイズメン&ウィメンズクラブ

横浜YMCA

6) 運営委員会では、開会当日に向け、以下の諸準備を行いました。

① メンバーが手分けして、チラシを地域の各福祉施設、教会、YMCA施設等での配布・掲示を行う。

② 主要新聞、地域のマスコミ等への開催の周知、理解促進活動を進める。

③ 区庁舎、区掲示板でのチラシ・ポスター掲示および配布を申請し実施した。

④ SNSを駆使してのワイズメンズクラブ関係者への周知活動を行う。

⑤ 当日の来場者配布用プログラムの作成、等

3. 開催当日の進行等

1) 09:00、公会堂事務所で当日の諸手続きを行う。同時に会場設営の準備を実施。

2) 10:00、演奏者が集合し、リハーサル開始。

3) 11:00、ボランティア集合。相賀クラブチャプレンの祈祷で開会式を行う。当日の進め方等に関する連絡事項の伝達を行い、各自持ち場での準備作業開始。

4) 12:00、参加ボランティア30名余（内、横浜YMCA関係者13名、つづきクラブ10名）が一堂に会し昼食を取りながらの「ミニ交流会」を開催。参加者の自己紹介等を行う。

5) 13:00、開場。既に待機しておられた来場者を案内して受け付け、入場を行う。

6) 開演5分前、場内放送で各種案内を行う。

7) 14:00、開演。運営委員会今城委員長が挨拶し、開会を宣言。幕が上がって演奏開始。20分の休憩を挟み、16:30迄演奏。途中、恒例のお散歩タイムでは、マーチに合わせ、来場の子もたちが舞台上に上り下りしての行進。

8) 最後に、会場の皆さんと「見上げてごらん夜の星を」の大合唱を行い定時に閉幕。

9) ボランティアが手分けして会場の復旧、清掃を行い、17:00前にすべて完了。

“To acknowledge the duty that accompanies every right”



ボランティア開会で「がんばろ〜！」



会場設営



受付開始。一番ドキドキする瞬間。



(左) 主催者代表による開会の挨拶

(右) 演奏開始、裏方に緊張が走る一瞬



主催 You & Iコンサート運営委員会
 NPO法人 アーモンドコミュニケーションワーク
 NPO法人 あんたの夢
 NPO法人 文芸PDC
 NPO法人 美だ福祉ホーム
 つづきウィズメン&ウィメンズクラブ
 横浜YMCA

後援 横浜市教育委員会
 横浜市都民区
 横浜市都民区社会福祉協議会

ご挨拶
 本日は第11回You & Iコンサートへご参加ください。
 主催者代表、演奏者一同、皆様のご来場を心より歓迎いたします。コロナ禍による活動の制限、昨年11月に記した第10回コンサート同様無観客とさせていただきますが、皆様のご来場を心より歓迎いたします。私どもは、この11回目のコンサートの開催を大変楽しみにしております。
 また、すべての人が大切になり、互いに支え合い、共に生き生きと暮らす社会の実現を目指して、様々な取り組みを行っています。皆様のご来場、ご参加、ご賛助を心より歓迎いたします。
 当日は、すべての人が大切になり、互いに支え合い、共に生き生きと暮らす社会の実現を目指して、様々な取り組みを行っています。皆様のご来場、ご参加、ご賛助を心より歓迎いたします。
 2023年11月18日 You & Iコンサート運営委員会

～あなたとわたし、隣がいっしょと共に～
第11回 You & I コンサート

日時 2023年11月18日(土) 14:00(開演)
 会場 横浜市都民区公会堂
 演奏 横浜室内合奏団・歌劇団

曲目 クラシラー テンペ・ディ・ヌット
 ヴィヴァルディ 春 第一楽章
 パッヘルベル 冬 第一楽章
 カン
 アンダーソン フリック・ファンク・ファンク
 アンダーソン 忘れられた夢
 A. マンケン 美女と野獣メドレー
 ～休憩～
 歌劇 『高き上手』 小岩俊也 作曲
 佐藤大祐 台本

このコンサートは、横浜市都民区社会福祉協議会より「社会福祉活動」の認定を受けています。
 NPO法人横浜YMCAは「社会福祉活動」の認定を受けています。

(左上) 会場風景、前列右側が車いす席

(上) 子どもたちも舞台上上がり、マーチに合わせて行進しました。

(左) オペレッタの熱演に場内も沸きました。

(中) 当日のプログラム

(左下) 出演者の皆さんに心ばかりのプレゼントを差し上げました。

(中) 地元テレビ局の取材がありました。放映内容は以下。

https://www.youtube.com/watch?v=2EI8JO_-Pac



“To acknowledge the duty that accompanies every right”

《第11回コンサートの評価》

この度の第11回You & I コンサートを、会場で行ったアンケート調査集計結果を中心に振り返ります。

- 入場者数は360名程度であったと想定され、ボランティアスタッフも含めると、400名ほどの入場者に達したものとされる。
- 今回回収したアンケート回答は90件で、来場者の約1/4に相当する。
- Q1:コンサートの開催をどのようにして知ったか?の問いに対しては、60%程度が友人・知人より知った、と回答しており、様々な広報活動を行ったが、結局は、ワイズ、YMCAをはじめ関係者による直接的な案内、勧誘が最も効果的であることを如実に示している。
- Q2:何人で来場したか?の問いには、2人で来たとの回答が62%と最も多く、次いで1人が21%、4人以上が12%となっている。家族、グループなどが多いのは本コンサートの内容からして当然ではあるものの、1人で来場された方は、特に音楽愛好者であろうと推測される。
- Q3:開催日時についての問いに対しては、90%弱が満足と答えているが、少数ながら不満とした方々は、閉幕時間までいると所属施設の門限に間に合わないから、と記載しておられた。今後、開会時間を早めることは容易ではないと思われるが、何らかの方策を検討してみたい。
- Q4:コンサートの運営についての問い、Q5:プログラム内容についての問いには、それぞれ、95%、100%の方々が満足の意向を示しておられ、我々の運営方法、プログラムの選定についてはほとんどの来場者が支持下

さっており、大変心強い思いをした。更に、Q6:次回も来て下さいますか?の問いにも97%の方々が、「必ず来る」(36%)、「多分来る」(61%)との回答を寄せて下さっており、本プログラムの継続に自信を覚えるものです。

- ★アンケートに文章でコメントを寄せて下さった方がおられる(42件)ので、そのいくつかをご紹介します。
 - * 障害を持った子と気兼ねなく参加できるコンサート、とてもありがたいです。これからもずっと続きますように
 - * 11回も継続しているだけで素晴らしい。
 - * コロナが落ち着いて来たこの時期に久しぶりのコンサートを楽しむことができた。曲目の説明があり一層楽しめた。
 - * 始めて参加しましたが、子どもたちがステージに上るのは他で見たこともなく、感動し、子どもたちの健全さに涙ぐんでしまいました。
 - * ステージ上の散歩はとても良い企画。階段ではなくスロープが付けばもっとみんな参加できたと思う。
 - * 親しみやすい、耳慣れた曲が多くて楽しめた。演奏者も素晴らしかった。
 - * 全ての人と一緒に楽しめるコンサートです。これからも末永く続けてください。
 - * 幸せな時間でした。ありがとう。
 - * 参加型で会場の一体感が良かった。よく知る曲を生で聞くことができ心が温かくなりました。
 - * 誰もが楽しめるバリアフリーのコンサートの主旨が大好き。独特の演奏活動をしてくれる人々に敬意と感謝を致します。(以上、抜粋)

《ウクライナ避難民支援》 12月15日、右の写真の3名が日本YMCA同盟本部を訪れ、つづきクラブで保管していた、ウクライナ避難民の方々支援の手編みのマフラーと帽子、約60点を寄贈しました。東京には現在660名余のウクライナ避難民の方々が身を寄せておられ、その方々への支援拠点の一つが、このYMCA同盟であることから、これら手作り品を有効に利用して頂くためお届けしました。YMCA同盟会館の2階にある『WHY BASE』にはウクライナの方々が交流するためのスペースが用意されており、今後、その場所に集うウクライナの方々に、寒さ除けのこれらの品々をプレゼントして頂くものです。(HI)



11月のデータ



例会出席	17名	在籍会員数	16名	各種記録	月実績	年度累計
メンバー	10名	月間出席者数	10名	スマイル	0円	27,153円
ビジター	0名	メキップ	1名	—	—	—
ゲスト	1名	月間出席率	68%	—	—	—

“To acknowledge the duty that accompanies every right”

《部大会および部評議会開催報告》

～部大会～ クラブ出席者：今城T・H、大野、辻Ts

去る11月25日(土)、相南とつかYMCAホールにて、湘南・沖縄部第27回部大会が開催されました。

第1部の講演会では、ウクライナ・オデーサ出身で、現在横浜市国際局で勤務するコヴァリエフスカ・ナタリアさんにより、ウクライナの現状つき、映像と語りでの説明がなされました。ともすれば国際社会から忘れ去られることになりかねない、長く続く戦闘状態ですが、多くの人たち、特に弱い人々が国の内外で大変苦しい生活を強いられていることを念頭に、私たちに何が出来るかを考え続けてゆかねばならないと強く感じさせられました。

第2部の部会では、山田公平区理事（宇都宮C）を始め7名の来賓の紹介、佐竹総主事のご挨拶（ZOOM）並びに、十勝クラブ代表による今年度の帯広での区大会〈来年6月〉のアピールがありました。

第3部では、「横浜クリエイティブアーツ」のメンバーによる小ミュージカル「ディア・エバン・ハンセン」が上演されました。現在、このグループを中心に新クラブの設立準備が進められており（小松仲史設立準備委員長）、発足するとこれま



部大会全員写真

でにない新しいクラブの誕生となることが期待されます。

～部評議会～ クラブ出席者：今城T、辻Ts

部大会終了後の16時より、湘南・沖縄部の今年度第2回めの「部評議会」が開催されました。今評議会の議案は次の通り； 1) 部/横浜YMCA合同新年会開催の件、 2) 次次期部長選任の件 3) 新クラブ設立準備委員会設置の件。これらのうち、i) は原案通り1月13日に開催することに決定。2) については、別途「選考委員会」を設置して協議することとなる。3) については、設置する準備委員会には、新たに「部会員増強主査」をメンバーに加えること等を追加して承認した。（今城T 記）

北 Y 便利

横浜北YMCA館長 鴨下 純久



11月に入ってからインフルエンザが猛威を奮い、横浜北YMCA近隣の小学校では学級閉鎖となったクラスが出ています。インフルエンザ以外の感染症も流行っているようです。引き続き、予防に努めていきたいと思えます。

さて、11月はイベントが続き、3日に「北Yまつり」、18日に横浜つづきワイズメン&ウィメンズクラブと共に運営した「第11回YOU&Iコンサート」がありました。「北Yまつり」は先月号で報告した通り、横浜つづきと横浜つるみのワイズの皆さまに「のみの市」の運営を中心にご奉仕いただきました。「YOU&Iコンサート」は、横浜YMCAのスタッフ12名が運営に携わり、ワイズとYMCAの協働を実践することができました。今年も運営に関わったスタッフから、心温まる素晴ら

しいコンサートであったとの感想を聞くことができました。

そして、12月5日は3ヶ月に1度開催している「YMCA-Y's協議会」があり、今回で100回目を迎えました。「東日本YMCAユースボランティアリーダーズフォーラム」と「第26回横浜YMCAインターナショナル・チャリティーラン」の報告を受けました。YMCAとワイズメンクラブが共に手を取り合い、地域のために、そして青少年のために活動できたことを本当に嬉しく思います。この場をお借りして感謝申し上げます。今後もさらに充実した活動ができることを願っています。

どうぞお身体をご自愛いただき、素敵なクリスマスをお過ごしください。（了）

編集後記

▼気がつくとも早くも師走。過ぎた一年が長かったのか短かったのか・途中、流行りのコロナまで頂いた編集子にとっては早かったけど長かったか？ ▼世の移ろいの速さに、我々人生の達人？と言えども、ついていくのがやっとの思いを強くもちます。だから何だと言われれば言葉もありませんが、人生の最終章にいるものとして、せめて最後は自分のペースで時間を使いたいとは思いますが、どうなるやら ▼クラブの女性メンバーによるTKBの弛まぬ活躍により、区大会では「最優秀クラブ賞」を受賞したのも本年6月のこと。つづきクラブ頑張り！ ▼100回目となるYMCA・ワイズ協議会が開催されました。紙面の都合報告できず残念ですが、すごいことだと思います。 ▼皆さんのおかげをもちまして、今年もブリテンを12回発行することができました。感謝です。来年もどうかよろしく

(編集子)

“To acknowledge the duty that accompanies every right”